



3月を迎えました。令和2年度の学年末～前進あるのみ！！

昨年4月、突然の始業式・入学式の中止から2ヶ月間の休校となった令和2年度。6月に始まり10ヶ月間の学校生活となりましたが、無事、最後の3月を迎えることとなりました。この間、感染防止の対応、行事の中止や変更等、多くの苦難がありました。しかし、時は確実に流れ、次のステージ（4月）に移ります。3月は年度のまとめとして有終の美を飾ることが何より大切です。そして、令和3年度に向け、準備を確実に行いましょう。

今年度はコロナ禍で大変な年でしたが、10年前の3月11日は東日本大震災が発生し、大勢の方々が犠牲になったり、津波で町がなくなったりして、たくさんの試練を強いられることとなりました。あらためて犠牲となった方々に心より追悼の意を表します。この10年間、東北地方の被災したどこの地域でも、その後の復興に向け、力強く立ち上がり、希望を絶やさずに頑張っている人々の姿を見たり聞いたりしてきました。しかし、先月はその余震ともとれる地震が発生し、まだまだ油断は出来ない状況ではありますが、各地での避難対応がととても適切だったとニュースでも報道されていました。過去の経験を生かして対応したことに、私たちも習い、常に防災意識を高く持つ必要があります。

今、新型コロナウイルスによる影響がととても大きい中ですが、震災の復興や対応同様、希望の光を絶やさず、私たちの生活において何をどうすれば良いのか、常に前を見て考え、行動していきましょう。そのためにもこの一年の最後を充実させることが大切です。

そして、3年生はいよいよ卒業ですね。新しい世界に希望を持って飛び込んでいってください。可能性は無限大！素晴らしい人生を歩んでいきましょう。また、1、2年生は令和3年度の東中学校の軸となって、大いに活躍してくれることを期待しています！

正義と団結～東中生としての誇りをもって！

2月の放送朝会では「正義と団結」について話をしました。「正義」とは人のことを考え、人の役に立つ、誰でも持っている正しいと思う気持ちと捉え、皆さんも自分を大切に、人の役に立つ人であってほしいと願います。

また、「団結」については、生徒会を考えてみてください。令和2年度は、第60代生徒会本部にバトンを渡しましたが、コロナ禍で活動は制限も多く、放送の役員選挙から始まり、工夫しながら活動を頑張ってきました。生徒会の目的は、生徒手帳に「この会は、生徒の自発的、自治的な活動を通して、楽しく規律正しい学校生活を築き、自主的な生活態度を養い、良き公民としての資質を育てることを目的とする。」とあります。【公民】とは「政治に参加する権利と義務を持つ人」、つまり東中生徒全員のことです。そして、【良き公民としての資質を育てる】ということは、お互いによりよい中学生として高め合うということ。このことを踏まえ、生徒会会員の一人一人（全校生徒）が充実した学校生活を送り、中学生としての資質を育てていけるよう、協力していくことです。18歳になれば皆、選挙権が与えられます。そのためにもこのことを知り、意識していく必要があります。

“government of the people, by the people, for the people,” この第16代アメリカ大統領リンカーンの言葉を借りて言い換えれば、「生徒の 生徒による 生徒のための生徒会」ということです。令和3年度へ前進あるのみ！ **《胸を張り、瞳輝け東中生！》**



第60代生徒会本部スローガンの横断幕